

第150期 中間報告書

(平成27年3月1日から平成27年8月31日まで)

もう息子には会えないと、思っていました。

母と暮せば
haha to kuraseba

12月12日(土)ロードショー

山田洋次監督作品



©2015「母と暮せば」製作委員会

©2015「母と暮せば」製作委員会



松竹株式会社

証券コード9601

松竹株式会社

代表取締役社長 迫本 淳一



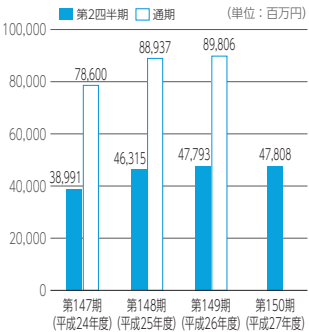
平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社は第150期第2四半期連結累計期間（平成27年3月1日から平成27年8月31日まで）の事業活動を終いたしましたので、業績並びに事業の概況につきましてご報告申し上げます。

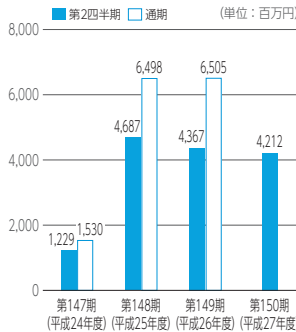
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

連結決算ハイライト

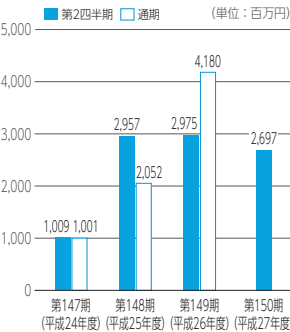
売上高



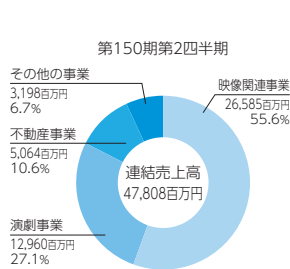
経常利益



当期純利益



事業別売上高



当第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、輸出や生産で弱含みの傾向が見られたものの、個人消費や設備投資の持ち直し、雇用情勢の改善などから、景気は緩やかな回復基調が続きました。

映画業界は、前年に国内興行収入が歴代3位を記録した「アナと雪の女王」の大ヒットの反動があったものの、「ジュラシック・ワールド」「バケモノの子」「ミニオンズ」「HERO」「ミッション：インポッシブル/ローグ・ネイション」等のヒット作が続出し、7月、8月は例年になく盛況となりました。

演劇業界は、依然としてお客様が公演を厳しく選別している状況が続くなか、お客様の嗜好に合致した企画・公演を実現するとともに、現状の観客動員を維持しながら、新たな販路を開拓していくことが課題となりました。

不動産業界は、賃貸オフィスビル市場で、空室率の改善傾向の動きが強まり、都心部の一部では募集賃料の緩やかな上昇が見られ、市場は回復局面に入りました。

このような状況下、当社グループはより一層の経営の効率化を図るとともに、積極的な営業活動に努めて参りました結果、当第2四半期連結累計期間は、売上高47,808百万円（前年同期比100.0%）、営業利益4,581百万円（同91.5%）、経常利益4,212百万円（同96.4%）となり、特別利益500百万円、特別損失649百万円を計上し、四半期純利益は2,697百万円（同90.7%）となりました。

なお、当社の中間配当につきましては、通期業績に不透明要因が残ることから、誠に遺憾ながら見送らせていただきたく存じます。

以下、事業別の概況をご報告申し上げます。

上半期の概況

映像関連事業

【配給】ODSを含む邦画11本、洋画2本、アニメ6本、シネマ歌舞伎、METライブビューイングとバラエティに富んだ作品を公開しました。3月、4月に連続公開の「ソロモンの偽証」（前後篇二部作）は、厳しい結果となりましたが、5月公開の「駆込み女と駆出し男」は、原田真人監督が初めて時代劇に挑戦した作品で女性を中心に高稼働しました。6月公開のアニメ「ラブライブ！The School Idol Movie」は、熱心なファンの支持を得てヒットとなりました。8月公開の「日本のいちばん長い日」は、戦後70年の節目に、終戦の舞台裏を描いたノンフィクションを豪華キャストで完全映画化し、話題を集めました。

【興行】7月、8月にヒット作品が多かったことと、自社配給作品を効果的に展開したこと等も奏功し、多くの劇場で8月の興行記録を更新しました。また、新宿ピカデリーの近隣に競合館が開業しましたが、独自の宣伝展開や番組編成を強化した結果、引き続き高い稼働率となり、全国トップクラスの動員を維持しました。

【テレビ制作】地上波にて、シリーズ企画「名探偵・神津恭介2」「司法教官・穂高美子4」、連続ドラマ「REPLAY&DESTROY」「銀のスプーン」、BSにて、連続時代劇「一路」、情報番組「片岡愛之助の解明！歴史捜査」等を受注制作しました。

【映像版權】<DVD・ブルーレイディスク販売>邦画は「ソロモンの偽証」（前後篇二部作）「マエストロ」「リトル・フォレスト」等を販売しました。また、アニメ作品の「たまゆら～卒業写真～」では、劇場公開と同時に様々な特典を付加して同作品を販売し、好調な売上となりました。

<権利販売>放映権販売は、地上波ゴールデンにおいて「小さいうち」が放映され、BS放送においてはBSジャパンにて「男はつらいよ」全作放映の2回目が1月より始まり、WOWOWでは

「釣りバカ日誌」シリーズの全作放映を5月に行いました。配信では「白ゆき姫殺人事件」「超高速！参勤交代」等の邦画が堅調で、昨年よりスタートした「男はつらいよ」シリーズをiTunes等で一作品ごとに販売するサービスも好調に推移しました。新作販売では、「ソロモンの偽証」（前後篇二部作）「駆込み女と駆出し男」はJAL、ANA双方へ販売し、旧作においても、JALへ「釣りバカ日誌」シリーズの機内上映権を販売しました。

【CS放送】松竹ブロードキャスティング(株)は、ホームドラマチャンネルが苦戦しておりますが、衛星劇場チャンネルおよび広告収入は好調に推移しました。

演劇事業

【歌舞伎座】新開場3年目となりました歌舞伎座は、3月に「菅原伝授手習鑑」の通し上演、6月に「新薄雪物語」の通し上演を行うなど、若手花形俳優も積極的に起用しながらの意欲的な公演に取り組みました。4月には、新開場後初の襲名披露興行となる「四代目中村鴈治郎襲名披露 四月大歌舞伎」を行い話題を集めました。また、「團菊祭五月大歌舞伎」「七月大歌舞伎」「八月納涼歌舞伎」が高稼働しました。

【新橋演舞場】3月には、藤山直美主演のスーパー喜劇「かぐや姫」を上演し、大好評の公演となりました。大盛況での4月、5月連続公演となりました「滝沢歌舞伎」は今年で10年目の節目を迎えました。7月の歌舞伎NEXTと銘打ちました意欲作「阿豆流為」は市川染五郎、中村勘九郎、中村七之助らが出演し、大きな話題を呼び好成績を収めました。8月は片岡愛之助主演の「もとの黙阿弥」が多彩な出演陣で大きな話題を呼びました。

【大阪松竹座】3月、8月の関西ジャニーズJr.公演は世代交代のなか、堅実に成果を残しました。4月のスーパー喜劇「かぐや姫」



「駆込み女と駆出し男」
©2015「駆込み女と駆出し男」製作委員会



「日本のいちばん長い日」
©2015「日本のいちばん長い日」製作委員会



平成27年4月 歌舞伎座
四代目中村鴈治郎襲名披露「成駒家歌舞伎振」
©松竹株式会社

は、新橋演舞場での公演に引き続き活況を呈し、収益に貢献しました。6月は、OSK日本歌劇団「レビュー春のおどり」での高世麻央お披露目公演、片岡愛之助主演の「六月花形歌舞伎」がともに高稼働しました。また、恒例の「七月大歌舞伎」では、片岡仁左衛門を中心とした舞台がお客様の注目を浴び、好評を博しました。【南座】「三月花形歌舞伎」では、次世代を担う尾上松也をはじめ若手歌舞伎俳優の活躍で舞台を盛り上げました。4月から5月にかけては「歌舞伎ミュージアム」にて恒例の舞台体験に加え、劇場体験型謎解きゲームの開催等、新たな企画を導入し新規観客動員に繋がりました。5月「歌舞伎鑑賞教室」は新規学校動員に注力し、7月「喜劇 有頂天旅館」では、公演の舞台となった大津市、旅館組合等多方面にPRと動員を図り、収益の拡大に寄与しました。

【その他の公演】「十八世中村勘三郎を偲んで」と銘打ちました「平成中村座 陽春大歌舞伎」は、浅草寺境内で4月から5月の初めまで行われ、大賑わいの公演となりました。日生劇場におきましては、エミリー・ブロンテ原作の名作「嵐が丘」を堀北真希の主演で上演、サンシャイン劇場では、つかこうへい作・錦織一清演出の「広島に原爆を落とす日」、市村正親らの出演による「ART」を上演し話題を呼びました。三越劇場では、6月の『新派名作劇場』で「十三夜」と「残菊物語」を上演しました。

受託製作では、明治座にて市川猿之助、片岡愛之助、市川中車を中心とした人気の舞台「五月花形歌舞伎」を製作、「六月博多座大歌舞伎」は、四代目中村鴈治郎襲名披露公演として行いました。また、8月に新歌舞伎座の「新・水滸伝」は、市川右近主演で2年ぶりの再演となりました。

【シネマ歌舞伎・METライブビューイング】シネマ歌舞伎は、昨年コクーン歌舞伎にて上演した「三人吉三」をNEWシネマ歌舞伎として、6月から公開し大好評を得ました。METライブビューイングは、2014～2015シーズンで、「道化師」「カヴァレリア・

ルスティカーナ」等を上映した他、過去作品のアンコール上映も好評を得ました。

不動産事業

不動産賃貸は、歌舞伎座タワー、築地松竹ビル（銀座松竹スクエア）、新宿松竹会館、有楽町センタービル（マリオン）、松竹倶楽部ビル、大船の松竹ショッピングセンター、新木場倉庫等が満室稼働し、安定収入に貢献しました。また、京都市中京区の京都第2ビル跡地につきましては、賃借人と契約を締結しました。各ビルともに効率的運営、管理費等の経費削減に努め、計画通りの利益を確保しました。

その他の事業

《プログラム・キャラクター商品》「ラブライブ！The School Idol Movie」「機動戦士ガンダム THE ORIGIN I 青い瞳のキャスバル」「劇場版 境界の彼方 ーI'LL BE HEREー」等、いずれも自社配給のアニメ作品が高稼働しました。また同作品の商品が牽引し、通販サイト「Froovie」での商品受注も好調に推移しました。劇場商品以外の新たな展開として、歌舞伎と「ふなっしー」のキャラクターコラボ商品を開発し、好調な売上となりました。

《イベント事業》3月に成田空港出発ロビーにオープンした歌舞伎のギャラリーとショップ機能を併せ持つ「Kabuki Gate」は、多くの国内外のお客様で賑わいを見せました。夏休みには、「松竹おばけ屋本舗」として定番の“ホラーイベント”を東京タワーで、また子供たちに驚きと感動を与える「巨大昆虫ワールド」を大阪ATCホールで開催し、大ヒットイベントとなりました。その他では引き続き「松竹歌舞伎屋本舗」、競馬観戦型レストラン「ダイヤモンドターン」が好調に推移しました。



平成27年6月 歌舞伎座「新薄雪物語」
©松竹株式会社



平成27年3月 新橋演舞場
スーパー喜劇「かがや姫」
©松竹株式会社



歌舞伎座タワー
©松竹株式会社・株式会社歌舞伎座



「歌舞伎ふなっしー」
クリアファイル
ぬいぐるみボールチェーン
©ふなっしー
©SHOCHIKU Co.,Ltd.

今後の見通し

今後のわが国の経済は、雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待されますが、中国経済をはじめとした海外景気の下振れ等、わが国の景気を下押しするリスクや金融資本市場の変動に留意する必要があります。

当社グループは、コンプライアンス経営の強化に取り組み、社会情勢に対応しつつ、企業価値を高め、あらゆる世代のお客様に喜んでいただける映像・演劇コンテンツを創造して参ります。

【映像関連事業】映画製作・配給につきまして、9月にベストセラー作家・東野圭吾の原作を完全映画化した衝撃作「天空の蜂」、11月に伊坂幸太郎のミリオンセラーを生田斗真、浅野忠信、山田涼介らの豪華キャストで送る「グラスホッパー」、12月に松竹創業120周年記念映画として、山田洋次監督が原爆投下から3年後の長崎を舞台に、吉永小百合、二宮和也の親子を描く初ファンタジー作品「母と暮せば」等を公開します。また、来期以降の施策として、自社企画作品の製作本数を増やして参ります。

映像版權につきましては、当社の名作を最新の技術で蘇らせたデジタル修復版として、「青春残酷物語」「晩春」「残菊物語」のDVD・ブルーレイディスクを順次発売の予定です。

【演劇事業】歌舞伎座は「秀山祭九月大歌舞伎」では、歌舞伎座において50年ぶりとなる「競伊勢物語」を上演、また時代物の大作「伽羅先代萩」を通し狂言として上演します。「芸術祭十月大歌舞伎」では、二世尾上松緑の二十七回忌追善狂言を上演、「吉例顔見世大歌舞伎」は「十一世市川團十郎五十年祭」と銘打ちましたの公演となります。新橋演舞場は、昨年16年ぶりに東京公演を果たしました松竹新喜劇が9月に公演を行います。また、スーパー歌舞伎Ⅱ（セカンド）の第二弾として、人気漫画を原作とした「ワンピース」を市川猿之助主演で10月、11月と連続上演します。大阪松竹座は、話題となった新橋演舞場での盛況を受けて、9月「もとの黙阿弥」、10月「阿豆流為」を上演します。南座は、「九月花形歌舞伎」にて中村獅童主演の新作歌舞伎「あらしよるに」を上演し、年末恒例の「吉例顔見世興行」は、各地で話題となり



「天空の蜂」
©2015「天空の蜂」製作委員会

ました四代目中村鴈治郎襲名披露となります。1月の浅草公会堂は、世代交代を実現し2年目となる若手花形俳優中心の公演となりますので、一層盛り上げていくよう宣伝、営業活動を行って参ります。

シネマ歌舞伎は、十世坂東三津五郎の追善として「喜撰／棒しぼり」を来年2月に公開する予定です。METライブビューイング2015～2016シーズンは、例年通り11月よりヴェルディ「イル・トロヴァトーレ」で幕を開け、計10作品の上映を予定しております。

【不動産事業】所有物件の満室稼働を目指し、これまで以上に業界の動向に注力し、積極的なテナントリーシングを続けて参ります。また、ご入居いただいたテナント企業様には、松竹独自の細やかなテナントコミュニケーションを創意工夫することで、建物価値の向上および新たなビジネスの架け橋となることを心がけます。ビル管理におきましては、防災体制やセキュリティの向上に取り組みとともに快適な環境作りや省エネにも努め、「安心・安全なビル運営」を心がけます。また、保全管理には万全を期し、当社保有不動産全体のスケールメリットを最大限に活かした経費削減と効率的な運営のもと、より一層の安定収益確保に努めて参ります。

【その他の事業】プログラム・キャラクター商品では、自社配給のハイエンドアニメ「ハイ★スピード-Free！ Starting Days-」「機動戦士ガンダム THE ORIGIN II 哀しみのアルテイシア」「たまゆら～卒業写真～」等にてプログラム、商品ともに高収益が見込めるほか、同じく自社配給作品の目玉である「母と暮せば」等、実写作品でもプログラムを中心に収益を確保して参ります。また、キャラクターコラボ商品の開発、販売も積極的にすすめ、映像関連以外の商品ビジネスの拡大を目指して参ります。イベントプロモーションでは上期に開催した「ホラーイベント」を海外に販売して、グローバルな展開を開始しました。今後は定番・既存イベントの継続受注へ向けた営業力の更なる強化に加え、新たなイベントや事業の開発への企画力も強化し安定した収益確保に注力して参ります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。



「母と暮せば」
©2015「母と暮せば」製作委員会



平成27年10月、11月 新橋演舞場
スーパー歌舞伎Ⅱ（セカンド）
「ワンピース」
©スーパー歌舞伎Ⅱ「ワンピース」
パートナーズ

連結財務諸表

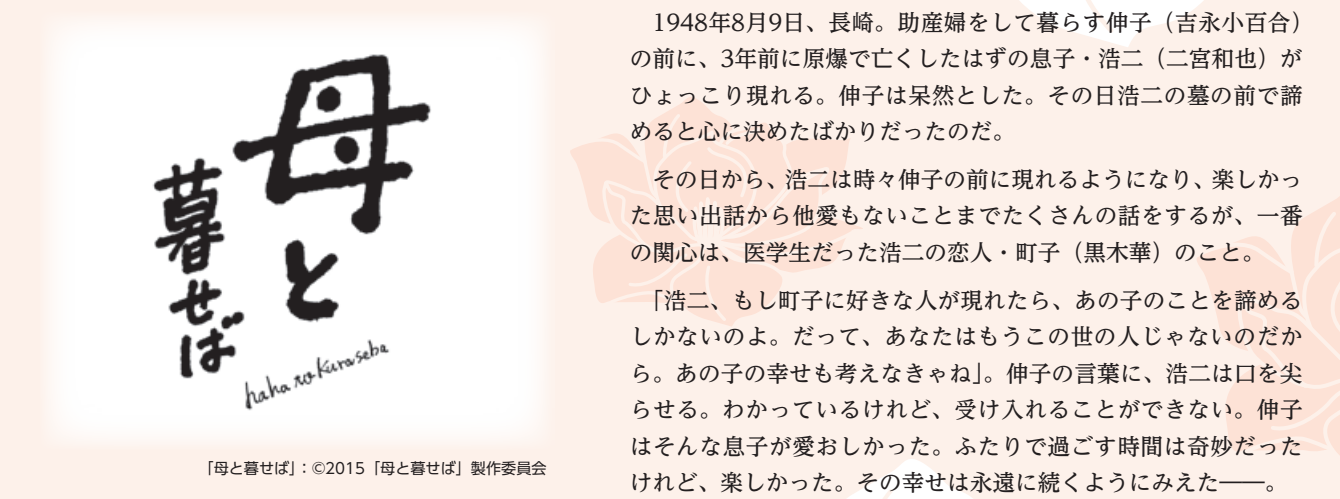
■ 連結貸借対照表(要旨)			(単位:百万円)	
科 目	当第2四半期末 平成27年8月31日現在	前期末 平成27年2月28日現在		
資産の部				
流動資産	43,705	36,388		
固定資産	159,864	158,263		
有形固定資産	108,034	109,995		
無形固定資産	2,881	2,892		
投資その他の資産	48,947	45,375		
資産合計	203,569	194,652		
負債の部				
流動負債	42,495	42,511		
固定負債	79,344	75,670		
負債合計	121,839	118,181		
純資産の部				
株主資本	72,361	69,425		
資本金	33,018	33,018		
資本剰余金	30,135	30,135		
利益剰余金	10,542	7,595		
自己株式	△ 1,335	△ 1,324		
その他の包括利益累計額	9,318	6,992		
その他有価証券評価差額金	9,253	6,929		
退職給付に係る調整累計額	65	63		
少数株主持分	50	52		
純資産合計	81,729	76,470		
負債・純資産合計	203,569	194,652		

■ 連結損益計算書(要旨)			(単位:百万円)	
科 目	当第2四半期累計期間 自 平成27年3月 1日 至 平成27年8月31日	前第2四半期累計期間 自 平成26年3月 1日 至 平成26年8月31日		
売上高	47,808	47,793		
売上原価	27,343	26,800		
売上総利益	20,465	20,992		
販売費及び一般管理費	15,883	15,985		
営業利益	4,581	5,006		
営業外収益	342	340		
営業外費用	711	980		
経常利益	4,212	4,367		
特別利益	500	470		
特別損失	649	15		
税金等調整前四半期純利益	4,062	4,821		
法人税、住民税及び事業税	1,158	1,768		
法人税等調整額	209	73		
法人税等合計	1,367	1,841		
少数株主損益調整前四半期純利益	2,695	2,980		
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△ 2	4		
四半期純利益	2,697	2,975		

■ 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)			(単位:百万円)	
科 目	当第2四半期累計期間 自 平成27年3月 1日 至 平成27年8月31日	前第2四半期累計期間 自 平成26年3月 1日 至 平成26年8月31日		
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,483	4,806		
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,030	215		
財務活動によるキャッシュ・フロー	509	△ 13,201		
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,962	△ 8,179		
現金及び現金同等物の期首残高	9,552	19,769		
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,514	11,589		

新作映画情報

「母さんはあきらめが悪いから、なかなか出てこれなかったんだよ」。



終戦から70年。作家・井上ひさしさんの願いを、「父と暮せば」の対になる作品として山田洋次監督が映画化した「母と暮せば」。生涯で一番大事な作品を作るという山田監督の想いのもとに、吉永小百合、二宮和也、黒木華、浅野忠信、加藤健一など、人気実力ともに兼ね揃えたキャストが集結。更に、世界を舞台に活動している坂本龍一が音楽担当として山田組に初参加し、映像に美しい旋律を重ね、作品に更なる豊かな世界を加えます。

2015年を代表する1本になるだけでなく、これからもずっと残るであろう山田監督の最新作に、乞うご期待ください。
2015年12月12日(土) 全国公開です。

「母と暮せば」

監督：山田洋次
音楽：坂本龍一
脚本：山田洋次 平松恵美子
出演：吉永小百合 二宮和也
黒木華 浅野忠信 加藤健一

©2015「母と暮せば」製作委員会

2015年度(149期、150期)の 松竹演劇部の新作歌舞伎に対する取り組み

私ども松竹が一民間企業でありながら、歌舞伎の製作、公演を事業として継続できているのは、歌舞伎という舞台芸術が古典芸能でありながら、同時代性を持った演劇として愛好されているからだ、私どもは考えています。

2015年度における新作歌舞伎の具体例としては、1月の新橋演舞場で漫画原作者として活躍する樹林伸氏を原作に迎えた『石川五右衛門』、2月の六本木EXシアターでは、映画監督の三池崇史氏を演出に、宮藤官九郎氏を脚本に迎えた『地球投五郎宇宙荒事』を上演しました。7月の新橋演舞場、10月の大阪松竹座では、劇団新感線の公演のための作品である「アテルイ」を、歌舞伎の作品として再構成した『阿弖流為』を上演しました。

さらに9月京都南座では、ベストセラー絵本として知られる『あらしのよるに』を、歌舞伎化して上演。絵本が題材の歌舞伎はこれまでにないもので、通常の公演と異なり、親子連れでの観劇も目立ちました。加えて2015年度屈指の話題作は、国民的人気漫画である尾田栄一郎氏の「ONE PIECE」を原作にした、スーパー歌舞伎Ⅱ『ワンピース』です。「ONE PIECE」の世界観がどのように歌舞伎化されるのか、歌舞伎ファンのみならず、漫画ファンの間でも、注目を集めている舞台です。

これ以外にも、純然たる古典歌舞伎の演出のもと、現代の新しい脚本によって上演している作品もあります。5月の歌舞伎座で復活した歌舞伎十八番の『蛇柳』や、同月明治座で上演された『鯉つかみ』がそれで、ともに新しい脚本で再構成し話題を集めました。

新作歌舞伎の創造は、歌舞伎が同時代性を持った演劇であることを証明するものであると考え、松竹では常に新しい歌舞伎作品を作るべく鋭意努力しています。



平成27年7月 新橋演舞場
「阿弖流為」
©松竹株式会社



平成27年9月 南座
「あらしのよるに」
©松竹株式会社

「ラスベガス 歌舞伎初公演 3日間で10万人を動員」

「Panasonic presents KABUKI Spectacle at Fountains of Bellagio」

2015年8月、歌舞伎をテーマとした新しいエンターテインメントを開発する取り組みの第一弾として、市川染五郎主演、中村米吉共演による「Panasonic presents KABUKI Spectacle at Fountains of Bellagio - Koi-Tsukami - “Fight with a Carp”」を、MGM リゾーツ・インターナショナルの「ベラージオの噴水」において14日から16日までの3日間、5回公演を行いました。

延べ約10万人のお客様が巨大噴水を取り巻いて、本公演をご鑑賞くださいました。アメリカでの報道では、約250の媒体で紹介されるなど、日米を中心として、世界中で大きな反響を呼びました。

松竹は、将来的な日本のインバウンド（訪日観光客）の拡大を見据え、その需要に対応するための新しいコンテンツを2020年以降に向けて継続的に開発して参ります。本公演はそのスタートを飾るにふさわしい画期的な公演となり、古典歌舞伎をベースに、最先端のテクノロジーとの融合や、これまでにない上演場所での上演等、訪日観光客をはじめとする幅広いお客様に楽しんでいただけるような、今までにないコンテンツの開発を目指して参ります。



©松竹株式会社



©松竹株式会社



©松竹株式会社

会社の概要

商号 松竹株式会社
設立 大正9年11月
資本金 33,018,656,642円
従業員数 523名

本社、支社および営業所
本社 東京都中央区築地四丁目1番1号
電話 03-5550-1534（総務課）
関西支社（大阪）
九州営業所（福岡）

当社ホームページ
http://www.shochiku.co.jp/

役員

代表取締役会長 大谷信義
代表取締役社長 大迫本淳
取締役副社長 安孫子正人
取締役副社長 細田光人
常務取締役 武中光雅
常務取締役 大角哲也
常務取締役 岡崎敏昭
社外取締役相談役 越村元一
取締役 秋根康之
取締役 山根成之
社外取締役 田中早苗
取締役 西村幸弘
取締役 高橋敏弘

常勤監査役 岡田敏明
社外監査役 鈴木茂晴
社外監査役 牛島信
社外監査役 立花貞司

グループ会社一覧

- 連結子会社
- ・松竹衣裳（株）：舞台衣裳等の製作・販売・賃貸
 - ・（株）松竹サービスネットワーク：映画関連グッズの販売、各種イベントの企画製作および運営、不動産管理・清掃、フラワー事業、損害保険の代理、警備、旅行者者代理業
※平成27年6月1日より（株）松竹サービスネットワークを存続会社、松竹関西サービス（株）（不動産管理・清掃）を消滅会社として統合合併
 - ・松竹ショウビズスタジオ（株）：舞台、映画、テレビ、ラジオの番組企画・製作並びに音響効果の企画・製作・再生
※平成27年7月21日（株）ショウビズスタジオから社名変更
 - ・松竹芸能（株）：タレント・俳優の養成並びにマネージメント、演劇・テレビドラマ・イベントの企画・製作
 - ・松竹ブロードキャスティング（株）：CS・CATV放送、ソフト製作・編集【衛星劇場・ホームドラマチャンネル】
 - ・（株）松竹撮影所：劇場用映画・テレビ映画の製作、短編・CM映画の製作並びに請負
 - ・（株）松竹映像センター：映像制作、編集およびDVDオーサリング
 - ・（株）松竹マルチプレックスシアターズ：複合映画館（シネマコンプレックス）の開発・運営
 - ・松竹音楽出版（株）：映画音楽の制作並びに音楽著作権の管理
 - ・松竹ナビ（株）：宣伝の企画・制作・代理
 - ・歌舞伎座舞台（株）：演劇舞台の大道具製作・販売
 - ・（株）関西美術：演劇舞台の小道具製作・賃貸
 - ・日本演劇衣裳（株）：舞台衣裳等の製作・販売・賃貸
 - ・（株）松竹エンタテインメント：俳優・芸能タレント・音楽家・スポーツ選手・アーティストの育成並びにマネージメント
 - ・匿名組合築地ビルキャピタル：築地松竹ビルの賃貸および管理
 - ・KSビルキャピタル特定目的会社：歌舞伎座タワーの賃貸および管理

持分法適用会社

- ・（株）サンシャイン劇場：サンシャイン劇場の賃貸、演劇・映画の興行他
- ・（株）イヤホンガイド：演劇劇場内イヤホンガイドサービス
- ・（株）歌舞伎座：歌舞伎座その他の事務所・店舗の賃貸
- ・新橋演舞場（株）：新橋演舞場その他の事務所・店舗の賃貸
- ・インターローカルメディア（株）：放送法による委託放送業務およびその他の放送一般事業
- ・歌舞伎座サービス（株）：食堂・飲食店舗・売店の経営
- ・Aetas（株）：ゲーム全般に関する情報サイトの運営

株式の状況

発行可能株式総数 300,000,000株
発行済株式の総数 139,378,578株（自己株式1,157,260株を含んでおります。）
株主数 17,431名（前事業年度末比771名増）

大株主（上位10名）		
株主名	持株数	持株比率
株式会社歌舞伎座	4,802千株	3.47%
株式会社みずほ銀行	4,500千株	3.26%
株式会社三菱東京UFJ銀行	4,344千株	3.14%
セコム株式会社	3,700千株	2.68%
清水建設株式会社	3,690千株	2.67%
株式会社大林組	3,600千株	2.61%
西松建設株式会社	3,288千株	2.38%
大成建設株式会社	3,104千株	2.25%
三井物産株式会社	2,700千株	1.95%
株式会社TBSテレビ	2,542千株	1.84%

（注）持株比率は自己株式（1,157,260株）を控除して計算しております。

株主優待基準

【株主優待権利確定日および優待期間】

権利確定日	優待期間
毎年2月末日	毎年6月～同年11月
毎年8月末日	毎年12月～翌年5月

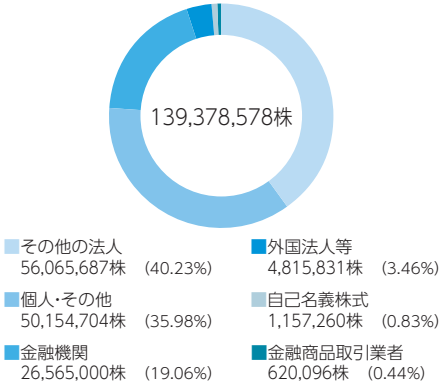
※6ヶ月ごとに株主様へ優待内容通知をご送付いたします。

【映画優待 ポイント付与基準】

保有株式数	6ヶ月優待ポイント数（1ヶ月使用可能ポイント数）	
1,000株以上	80ポイント	（40ポイント）
2,000株以上	160ポイント	（60ポイント）
3,000株以上	200ポイント	（80ポイント）
5,000株以上	280ポイント	（100ポイント）
8,000株以上	400ポイント	（120ポイント）
10,000株以上	480ポイント	（140ポイント）

※「6ヶ月優待ポイント数」とは、優待権利期間の6ヶ月の間に使用できるポイント総数です。
そのポイント総数の内、1ヶ月に使用できる上限のポイント数を示しているのが、「1ヶ月使用可能ポイント数」です。
※1名様につき、10ポイントが必要となります。なお、「新宿ピカデリー」のみ1名様20ポイントが必要となります。
新宿ピカデリーは公開の2週目（8日目）以降から利用可能です。「プラチナシート」・「プラチナルーム」はご利用になれません。
※3D映画は、1名様につき15ポイント（通常10ポイントの1.5倍）で、ご鑑賞可能となります（「新宿ピカデリー」のみ30ポイント）。

【所有者別株式分布表】



株主メモ

事業年度 3月1日から翌年2月末日まで

定時株主総会 毎年5月下旬

株主確定基準日 定時株主総会 2月末日
期末配当 2月末日

株主名簿管理人 三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社

特別口座の口座管理機関

同連絡先 〒137-8081

東京都江東区東砂七丁目10番11号

三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社 証券代行部

電話 0120-232-711（フリーダイヤル）

インターネットアドレス <http://www.tr.mufig.jp/daikou/>

単元株式数 1,000株

公告掲載URL <http://www.shochiku.co.jp/company/ir/>

（ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法によって公告いたします。）

【お知らせ】

- (1) 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱ＵＦＪ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱ＵＦＪ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記の特別口座の口座管理機関（三菱ＵＦＪ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱ＵＦＪ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

●1単元（1,000株）未満の株式をお持ちの株主様へ 【買増・買取制度のご案内】

当社株式の証券市場での取引は1単元＝1,000株となっているため、単元未満株式を市場で売買することはできません。このため、当社は、1単元（1,000株）に不足する株式を買い増して、1,000株にまとめることができる「単元未満株式の買増制度」、1,000株に満たない株式を当社へ売却することができる「単元未満株式の買取制度」をご用意しております。

お手続きの方法

①当社株式を証券会社等の口座でお持ちの株主様

お取引の証券会社等へお問い合わせください。

②上記以外、特別口座をお持ちの株主様

三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社 証券代行部

電話 0120-232-711（フリーダイヤル）へ
お問い合わせください。

！買増・買取制度の例（1,200株ご所有の場合）



●特別口座で株式をお持ちの株主様へ

特別口座に記録されている株式は、株式市場で売買できません。株式市場で売買するためには、証券会社等に口座を開設し、特別口座から証券会社等の口座へ株式をお振り替えいただく必要がございます。

お手続きは、上記の三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社 証券代行部へお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。